

一般質問通告書

No.1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成 25 年 11 月 22 日  
東村山市議会議長 様

議席番号 21 番  
質問者 山口 みよ

記

番号	質問の項目と要旨
一	生活保護基準引き下げについて
	日本の貧困率は16%を超えています。6人に一人、実数で2000万人を超える。
	貧困者とされる人の生活水準は112万円、月額9万3000円。OECD30か国の
	うちメキシコ、トルコ、アメリカに次いで日本は4番目に高い貧困率で、ひとり親世帯
	に至っては、最高位となっている。
	このように貧困が広がっているときに、政府は生活扶助基準引き下げをした。
	所得の低い方から10%の人たちの消費実態と比較しバランスを取るというもの。
	この結果、夫婦子供一人世帯でも、60歳以上の単身者でも生活扶助基準額より、
	10%の人たちの方が低めという検証結果が出たため、また2008年から2011年の
	3年間、物価下降分のデータをもとに生活扶助費の引き下げが行われた。
	生活保護基準より低いと思われる人たちとの比較、リーマンショック後の最も激しい
	物価変動の時を反映させる見直しは、国民の生活実態とかけ離れている。
	1. 2008年から2012年度までの生活保護受給者数を男女分けて年代別に伺う。
	(20代から70代以上)
	2. 各年代ごとに生活保護を受給するようになった理由を、多い順に2項目伺う。
	3. 今回、国は就労支援・不正受給防止など単年度で450億円減らすという目標額
	を出した。東村山市はどのように取り組むのか、今までと変わることは何か
	具体的に伺う。
	a. 人事配置や担当の新設など
	b. 就労支援について
	c. 不正受給防止について

## 一般質問通告書

No.2

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成 25 年 11 月 22 日  
東村山市議会議長 様

議席番号 21 番  
質問者 山口 みよ

記

番号	質問の項目と要旨
一	4. 警察官OBが配置されていますが具体的にどのような仕事をされているのか伺う。
	相談に立ち会ったことはあるのか伺う。
	立ち入り調査権を持っているのか伺う。
	5. 生活保護基準より低い年金、病気、失業、障がい等貧困層は年々増加して
	います。
	さらに社会保障が削減され、滑り台社会といわれている今、最後の砦は、生活保
	護となっています。それでもまだ政府は生活保護の切り捨てをさらに強めようと
	しています。福祉事務所の窓口が本当の最後の砦となっているのではないで
	しょうか。そのためにも専門知識を持った職員を一人でも多く配置することが必要
	と思うが如何か。
	6. 市長に伺う。生活保護基準引き下げについてどのように考えているか、また
	生活保護受給者が「健康で文化的な生活」をしていると思うか伺う。
二	東村山市ホームページのアクセス改善を求む
	滋賀県野州市ではトップページに「生活困窮」という項目をつけ、そこをクリック
	すれば、支援の項目や手続き方法などが出てくるようになっている。
	このようにすれば、市民が困ったとき、受けられる制度を探しやすく、問題をはやく
	解決できる糸口になるのではないか。改善できないか伺う。

一般質問通告書

No.3

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成 25 年 11 月 22 日  
東村山市議会議長 様

議席番号 21 番  
質問者 山口 みよ

記

番号	質問の項目と要旨
三	高齢者の見守りをどのようにして作っていくのか。
	経済的に苦しいため、親戚の冠婚葬祭を控える、買い物に出かけるのも控えるなど
	交際費を極力抑えて生活をしている方たちは、徐々に親戚関係や近所づきあいから
	遠ざかっている。こういった中で、「無縁社会」といわれる状態が起きているのでは
	ないか。
	1. 市は見守り事業を始めたが参加団体数、利用者数の推移を伺う。
	2. 港区では東京都のシルバー交番制度を使い、ふれあい相談員を増やし、介護
	保険や福祉制度を一切利用していない一人暮らし高齢者をリストアップし、全員
	訪問をして実態把握をしたという。
	東村山市でもこの制度利用をしているか伺う。
	使っているとすればどこに、どのように使われているのか。
	3. ゴミだし支援について東村山市ではごみ収集の方に依頼をしているが、今でも
	走りながらの仕事であるのに負担は大きいのではないか。
	新潟市のある自治体では有償ボランティアで「ごみ収集支援事業」を立ち上げた。
	コーディネーターは社会福祉法人の職員が引き受け、利用者は1回10円×10枚
	の回数券を買い利用する。福祉団体へは利用者の1回10円の負担+市の補助
	金150円=160円が支払われている。
	東村山市でもこのような制度を採り入れたらどうか伺う。
	4. 東村山市内の65歳以上の孤立死数を伺う。
	2008年・2009年・2010年・2011年・2012年について